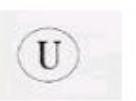


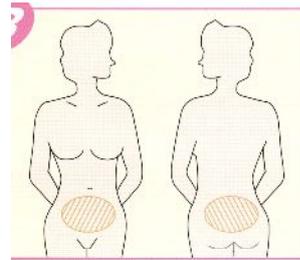
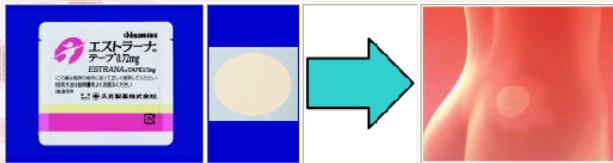
I. 飲み薬(主な内服薬)

[ ホルモン補充療法 ]

エストロゲン		黄体ホルモン	
			
プレマリン錠0.625mg 10.3×5.9 糖衣錠	エストリール錠 8.0×3.0 素錠	プロベラ 6.5×2.8 裸錠	

エストロゲン(プレマリン)は毎日服用  
黄体ホルモン(プロベラ)は、月に10日のみ  
(乳がん、子宮体がんの予防)

II. 貼り薬(パッチ)



**体に貼り、押さえる**  
薬を下腹部または臀部のいずれかに1枚貼り、薬のフチが浮かないよう手のひら全体でしっかりと押えてください。

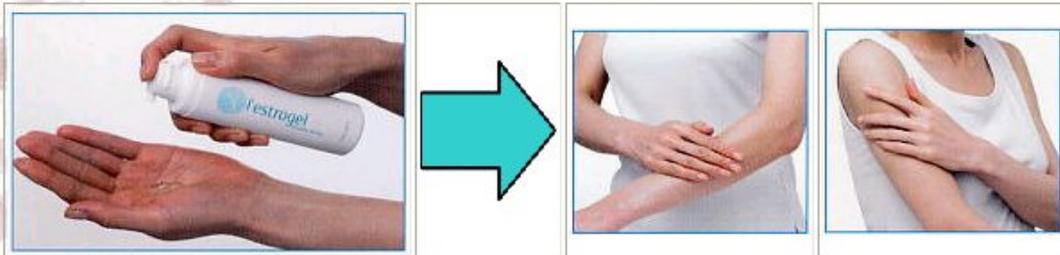
- ① ベルトなどが当たる場所は避けてください。
- ② 胸部には貼らないでください。
- ③ 傷や皮膚病のある場所には貼らないでください。

経皮吸収エストロゲン製剤が特に望ましい症例は、経皮吸収エストロゲン製剤はLDL-CとTG(トリグリセリド 中性脂肪)の両方を低下させることから、更年期症状を有するメタボリック・シンドローム(肥満・耐糖能異常・高TG血症・低HDL-C血症・高血圧の3つ以上を合併)の女性に対するの利点があると考えられています。このことは、経口剤ではTGが上昇することが有るのに対して、経皮吸収剤においては有意な低下が認められることである。  
また経皮吸収剤は心筋梗塞や脳卒中と関連している炎症マーカーCRP(C反応性蛋白)に対して、悪影響を与えない、むしろ有意に低下させると報告されています。更年期年齢の女性に推奨される剤形と思われます。

2日に1回貼りかえ  
入浴時は、貼ったまま

● ル・エストロジェル0.06%

毎日入浴後に塗布



● デビゲル1mg

近年注目されているエストロゲンを有効成分とする経皮吸収型(ゲルタイプ)のHRT製剤です。  
 効能・効果: 更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う血管運動神経症状(Hot flush及び発汗)。  
 1日1回左右いずれかの大腿部もしくは下腹部に塗布します。  
 塗布後皮膚からの吸収は速やかで、数分以内に乾き、使用法が簡便です。  
 皮膚刺激性反応は貼付剤に比べ少ない。  
 2007年11月発売、薬価基準収載がなされており、有用な薬剤として期待される。

毎日入浴後に塗布

